

# 年頭所感

あけましておめでとうございます。

新年を迎えるにあたり、皆様に所信を申し上げ年頭のご挨拶とさせていただきます。

令和元年という新しい時代の幕開けは穏やかな時代になって欲しいという願いもかなわず、気候変動の影響もあり多くの方々が被災されたり、国際政治面でも分断の時代といわれるように不確実性の高まる状況になりました。私ども地域金融機関にとっても引き続き人口減少と少子高齢化という地域の構造的要因に加え、マイナス金利等の金融緩和策が基礎的な収益力を低下させる結果となっています。しかしながら私はこのような状況だからこそ、SDGsの観点も踏まえ地域の持続可能性を求めて、新しいことにも挑戦すべきではないかと考えます。

「お金をお貸しする前に知恵をお貸しする」(付加価値のある提案型営業)、「あながと営業」(後々までお客様に感謝される商品案内)、「森を育てる」(長期的な収益向上策)という視点を堅持しつつ、様々な挑戦を行い、従来以上に「より創造性豊かな信用金庫」を目指したいと思えます。すなわち、お客様に提供する各種サービスの質を高める工夫を続けます。

事業先に対しては創業支援、事業承継等のコンサルティング機能の強化に努めるとともに、そのサービスの対価として貸出金利息や手数料等を確保し、ボリューム中心の旧来型経営からの脱却と持続可能なビジネスモデルの構築を図り、金庫の収益性を高めます。特に事業承継に関しては、当該お客様のみならず、地域の重要なネットワーク(取引先、従業員、顧客)が失われる危険性があり、重点的に対応する必要があります。

それら事業承継や補助金申請支援などの活動を通じ、本業支援継続先の増加を図ります。

「お金をお貸しする前に知恵をお貸しする」

次に個人を含むすべてのお客様に対し顧客本位の業務運営を確立し、MA制度の活用や進化、各種セミナーを通じNISAやiDeCo等によるお客さまの資産形成のお手伝いする提案や、社員の福利厚生を高める提案、キャッシュレス社会に対応するサービスの提供を行います。幸いに私どもの提供する預かり資産サービスのうち、比較可能な投資信託については、北陸地域内の金融機関比較において、プラスの比率が最上位に位置する結果となっています。

「あながと営業」

こうした新たなビジネスモデルの構築は短期間で達成できるものではなく、何より役職員一人ひとりが地域金融機関としての原点と使命を心に刻み、自ら創意工夫して地域やお客さまの成長・発展に向けた金融仲介機能を着実に進化させていく心構えが不可欠です。

「森を育てる」

また、フィンテック業者の台頭に対しICTの戦略的活用を含め、顧客チャネルの多様化と金融サービスの充実など急速に進展するデジタルイノベーションへの対応は「金融変革期」において当庫がスピード感を持って取り組むべき大きな課題です。

－ 理事長からのメッセージ －

以上を金庫一体となって進めるためには、何よりも「金庫を自分たちが主体的に運営している」「地域を私たちが支えている」という参加意欲を強く持つことが重要です。また、それをサポートする本部もどのようなシステム、枠組みを整えれば、世代間の意識の差を乗り越えて職員の意欲・熱意の向上につながるのか真剣に検討しなければなりません。

一方で資金の効率的運用（「リスクアペタイトフレームワーク」の組成）や業務運営の効率性向上を目指す店舗網の見直しなど将来の状況を踏まえた経営資源の再配置は早急に進める必要があります。また地域の労働力不足の進行を見据え、生産性向上のための業務改革・事務効率化を促進し経費の削減を確実なものにするとともに、適切な債権管理や自己査定の実施など時代や経済状況の変化に合わせた迅速な対応をとることも極めて重要です。

もちろん以上の根底には、法令等遵守に基づく適切な業務運営や強固なリスク管理体制の構築が必要であることは言うまでもありません。

こうした認識のもとスタートする令和2年は、そのメインテーマを

**強靱な経営体質**

～ 顧客基盤・財務基盤・人材基盤の強化 ～

と定め、次の基本方針を掲げることといたしました。

**持続可能なビジネスモデルの確立**

**共感・共創・共栄**

1. 金庫の活動に対し会員、お客様、地域からの共感を得られるように努める。
2. 事業価値の向上に向けた支援を通じ、地域の稼働力の維持・向上に努める。
3. エンゲージメントの向上を図り、職員自らの成長意欲と仕事に対する熱意を醸成する。
4. 経費の削減と非資金利益獲得の強化および適切な債権管理に努める。
5. 全金庫的な法令等遵守態勢の確立と金融政策の変更を見据えたりリスク管理態勢の高度化を図る。

役職員の皆様には以上のことを十分に理解され、主体性と自律性を持って、心ひとつに取り組まれることを希望します。すなわちこれは地域社会の課題に対し、皆が各々の立場で考え、専心行動することを意味します。

本年が、役職員とご家族の皆様にとりまして、幸福で最良の年であるとともに未来への希望の年となりますよう心から祈念し、年頭のご挨拶といたします。

令和2年1月6日

理事長 鈴木正俊